

平成28年1月より化学車が更新！！



化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)

平成9年より当本部で使用されてきた化学消防ポンプ自動車が更新され、平成28年1月より本署に新たに化学消防ポンプ自動車が配置されました。車両名称は「化学1」です。

化学消防ポンプ自動車は水のみでは消火が困難な油脂火災などに対応するため、泡消火薬剤を各種泡ノズル（放水銃等）で発砲させ、泡放水できる消防車です。化学消防ポンプ自動車の主な装備は水槽・泡原液槽・泡混合装置・放水銃で構成されています。消防ポンプに自動泡混合装置等（ポンププロポーションナー）が加わっている点が特徴です。また、泡消火薬剤が不要な火災の場合は、通常の水槽付消防ポンプ自動車としての運用も可能です。



シャーシ：ハイルーフダブルキャブオーバー型
(5.5tシャーシ)

全長：716cm

全高：305cm

全幅：230cm

乗車定員：6人

ポンプ能力：A-2級

水槽容量：1,500L

薬液容量：500L

泡原液混合方式：ポンププロポーションナー

LED照明機能を充実させ夜間の 災害活動をより安全・迅速に



車両に搭載する照明器具等を全てLED化することにより、従来の照明器具等と比べ、大幅に省電力化することができ、それに伴って高輝度の照明器具及び車両の各部に埋め込まれた作業灯を数多く搭載することが出来ました。これにより、夜間の災害現場で活動する隊員の安全を確保し、必然的に災害活動の迅速化に繋がっています。



搭載している照明器具等

- サーチライト3基
(キャブ上)
※ 20,000ルーメン/基
- 埋め込み型作業灯
車両側面 左右各2基
(バータイプ)
車両後面 2基
- ステップ展開連動型
赤色LED等



ハイルーフのキャビン内は広々とした空間があり、多種多様の災害に対応するための様々な資器材が収納可能である。また、火災現場等への出動途中、車内で立って空気呼吸器を着装することも可能となった。

キャブ内積載品

- 空気呼吸器3基、予備ボンベ3本、ガス検知器1基、小綱3本、20mロープ1本、カラビナ7本、HIDライト4本、デジタルカメラ一式、救急用資器材一式、AED1基、酸素バッグ1基、水難救助用ロープバッグ2個、拡声器1基、都市型救助用シットハーネス等各3セットなど